



まちの話題をお届けします

市ホームページの「旬感」まちのニュース」では、このコーナーに掲載できなかったさまざまな話題を紹介しています。最新のニュースから過去3年分まで、写真とともに閲覧できます。ぜひご覧ください。



9/9 応急手当協力事業所認定証交付式

応急手当に関する正しい知識と技術の習得を積極的に取り組んでいる3事業所へ認定証が交付されました。これにより62事業所が地域の応急手当普及啓発活動の担い手になりました。



9/12 永井せつさん100歳おめでとうございます

永井せつさん(西袋)が100歳の誕生日を迎え、自宅で家族が見守る中、市長から花束と記念品が贈られました。せつさんは、「呼ばれた催しには積極的に参加するようにしています」と教えてくれました。



9/25 川崎工業株式会社へ寄附金感謝状贈呈

同社からJR菊川駅南北自由通路整備に関して寄附金100万円をいただき、市長から感謝状が手渡されました。いただいた寄附金を活用して、JR菊川駅南北自由通路整備をしっかりと進めてまいります。



9/26 菊川水田受託営農組合から新米の寄贈

市内農家6人で組織する同組合から、静岡コシヒカリの新米360キログラムが寄贈されました。いただいた新米は、市内小中学校や東遠学園の給食に使用させていただくほか、食育にも繋がっていきます。



9/27 株式会社赤堀 あいさつ運動たすき贈呈

小笠東小で、あいさつ運動に使われるおよそ300本のたすきとトートバックおよそ50個が、寝具の製造販売を行う株式会社赤堀より贈呈されました。たすきには児童が作成したイラストが描かれ、あいさつ運動などで使用されます。



友 長野県小谷村&菊川市フーバ親善交流会 好都市とスポーツで交流

9月15日、堀之内体育館で「菊川市制20周年記念 長野県小谷村&菊川市フーバ親善交流会」が開催されました。フーバとは、健康づくりと地域福祉、そしてコミュニティづくりを目指して、平成19年に菊川市で誕生した中高年向けの4人制バレーボールです。本市と友好都市協定を締結している小谷村とは、数年前からフーバを通じて新たな交流が始まりました。交流会には、小谷村から4チームおよそ20人が参加。菊川市からは11チームが参加し、総勢およそ78人がフーバを通じて互いの親睦を深め、交流を楽しみました。



▲長野県小谷村と菊川市の参加者全員で集合写真

手 手話言語の国際デー ブルーライトアップ 話でつながる世界と市民の輪

9月23日、「手話言語の国際デー」に合わせてプラザけやきで「第6回菊川市手話言語に関する条例のつどい」と「ブルーライトアップ」が行われました。世界ろう連盟の呼び掛けにも賛同し、菊川市手話言語条例推進委員会の協力により実現。条例のつどいでは「ミニ手話教室」や「手話しりとり」「手話かるた」の体験が行われ、みんなで手話に親しみました。

日が落ち辺りが暗くなると、ブルーライトアップの点灯式が行われ、市民団体「たねあかり」の竹灯籠とともに会場を盛り上げました。



1



2

1手話でしりとりゲームに挑戦！ 2青色に灯されたプラザけやき